

カナダ留学を振り返って

国際食料情報学部・食料環境経済学科・2年・41722119・神尾彩希

1、当初の目的

目的は二つある。一つ目は、海外の人たちとの関わりでコミュニケーション能力を身に着けたいということだ。中学三年生の時、一度オーストラリアに短期留学に行った。そこで、あまりホストファミリーや現地の学生とあまり関わらなかったことにとっても後悔した。今回、カナダの短期留学に参加し、ホストファミリー・現地の学生とコミュニケーションをたくさんとることを意識した。二つ目は、英語力の向上だ。私は、将来日本と海外の懸け橋になるような仕事に就きたい。だから、日本で英語を座学で学ぶだけではなく、実際に海外へ行き現地の人と関わるが必要だと考えた。

2、目標達成のために現地で活動した内容

私のホームステイ先は、朝昼は各自でご飯・夜はみんなでご飯を食べるのがルールだった。だから、夜は外食を控えてホストファミリーと今日の出来事などについて話すことにしていた。また、ホームステイ先には私以外に日本人の留学生とブラジルの留学生とメキシコの留学生と暮らしていた。夜ご飯後は、みんなで映画観賞やカードゲームをしてコミュニケーションをとるようにしていた。

学校へ行った日の放課後は、バス停の前にある芝生で現地の学生に話しかけていた。日本のお菓子を持って行ったので話が広がった。また、お昼休みには軽くできるゲームや中庭のようなところで音楽が流れていたのでも積極的に参加をして現地の学生と関わった。

3、目標達成度の自己評価

当初の目的の8割程度目標達成できたのではないかと考える。積極的にホストファミリーとコミュニケーションをとれたことが今回の留学で一番目標にしていたので、達成できたのではないかと。しかし、英語でコミュニケーションを難しく、ジェスチャーや英語翻訳をしようしてしまったことが何度かあったので、もう少し英単語のボキャブラリーを増やしてから留学に行けばよかったと後悔をした。

授業中に関わる現地の学生は、英語の文法が間違っていたら訂正をしてくれたのでとても勉強になった。そういった部分では、目標としていた英語力向上は達成できた

のではないかないかと考える。

4、今後の取り組み

今回のカナダ短期留学で経験したことから、将来就きたい仕事明确了になった。だから、英語の勉強は今後も続けていく予定だ。同じホームステイ先のメキシコの留学生と連絡先を交換し、いつでも電話していいよと言われたので、それを活用して英語のスピーキング能力を高めていきたいと考えている。また、英語のポットキャストを定期的に聴き、リスニング能力の向上を図りたい。

5、持ち物・使用したお金

・持って行ってよかったもの

- 水筒 (絶対とっていいほど必要)
- シャンプーなど (カナダにも売っているが、高い)
- 半袖 (日によっては暑かった)
- 折りたたみ傘 (そこまで降っていなかったが雨よりはあった方がよい)
- 日本のお菓子 (現地の学生と話すときに話のネタになる)
- 水着 (ビーチに行く場合)
- カードゲーム (ホストファミリーや現地の学生と遊べる)
- 家用のサンダル (家が土足だった)
- リップクリーム (とにかく乾燥していた)

・用意したがいらなかったもの

- たくさんの洋服 (持って行ったが一回しか着なかった服もある)
- パソコン (クラスによっては必要だったが、私のクラスは不要だった)
- おしゃれ靴 (スニーカーとサンダルあれば大丈夫)
- 不安な気持ち (そんなものはいりません)

・使用したお金

- 90 ドル (大学行くまでの交通費)
- 200 ドル (遊び)
- 200 ドル (お土産)

現金 5 万円分とカード持っていった。

6、次年度以降への参加者へ

短期留学に参加をしたということは何かしらの目的があってきていると思う。社会人になって留学するということはなかなか難しい。だから、きちんと目的を達成して帰国をするべきだ。私は、今回の短期留学で行った出来事を忘れることはないだろう。

次に、カナダでの生活について話す。大学へ通学するときは、ほぼ全員がバス通学に

なる。バスは時間通りに来ないことがほとんどだ。余裕を持っていくとよい。初日は特に、ELI の場所が分からないので気を付けるべきだ。街中やバスに乗っていて大麻のにおいがすることが多々ある。その場合は、なるべく大麻を吸っている人から遠く離れよう。カナダでは大麻は合法だが、気を付けるべきだ。ダウンタウンに行く場合、大麻を吸っているホームレスが多く治安が悪い。夜に行くのは避けるべきだ。

次に、ホームステイ先の話をする。私のホームステイ先は、3歳と5歳の子供がいたのでお風呂に入る時間や友達との電話などの大きな音が出る行動は夜の10時までと決められていた。ホームステイ先によってハウスルールは異なるが、絶対に守ってほしいことである。

次に、英語の勉強についての話をする。カナダへ行き、現地の人たちと交流したいと考えるなら、英単語を覚えることが必要だ。文法がごちゃごちゃだとしても単語を言えば理解してくれる場合が多いからである。悔いのないように頑張してほしい。

